（様式１-２）

■当該施設の避難タイプ（総合判断表）

【主担当：　施設長　】

本施設の避難タイプを下表に示す。

年　　　月　　　日作成

**利用者や運営体制からみた避難行動実施可能性**

**施設の立地・構造・階数条件に応じた避難タイプ**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ■施設外避難原則タイプ  施設外への避難が原則です。ただし、以下の点に留意する必要があります。  ・台風や移動性低気圧など、ある程度降雨の予想ができる場合が望ましい  ・避難受入先との連携が必要となる  ・避難中に被害に遭うリスクがある | | Ｂ  Ａ | |
| ■施設内避難可能タイプ  施設内での避難が可能です。ただし、以下の点に留意する必要があります。  ・想定を超えた被災をする可能性がある  ・停電等に伴う施設機能の低下によって想定した避難ができない場合がある  ・孤立被害につながる可能性がある |  |
|  | ■施設外避難原則タイプ(準備段階)  施設外への避難が必要な立地・構造・階数の条件にありますが、利用者や運営体制面で避難が困難です。  　状況を改善するには、スタッフを増やして利用者に見合った運営体制を実現するか、外部機関・施設による支援体制を強化する等の方策により｢施設外避難原則タイプ｣を目指すことが考えられます。  ア | ■施設内避難可能タイプ(準備段階)  施設内での避難が必要な立地・構造・階数の条件にありますが、利用者や運営体制面で避難が困難です。  状況を改善するには、スタッフを増やして利用者に見合った運営体制を実現するか、外部機関・施設による支援体制を強化する等の方策により｢施設内避難可能タイプ｣を目指すことが考えられます。  また、体制はそのままであっても、設備の改良や避難対象となる利用者の入居形態の見直し等を行うことにより、状況を改善することも考えられます。 |  |
| イ |  |  |

本施設は　　　　　　　施設外避難原則タイプ　　　　　　　　です。